

巻末資料

- 資料1 調査1 - ①「多胎育児家庭の困難感の現状」インタビューガイド
- 資料2 調査1 - ②「多胎育児家庭が求めている家庭訪問型支援ニーズ」インタビューガイド
- 資料3 調査2 先進事例訪問ヒアリングガイド
 - ①行政用 多胎育児家庭への訪問型支援の取り組みの概況
 - ②医療関係機関・子育て支援団体用 多胎育児家庭への訪問型支援の取り組みの概況

資料 1

調査 1 - ①「多胎育児家庭の困難感の現状」インタビューガイド

- ・ 5つ（A～E）の時期別のテーマブロックのうち、予め希望した3つのブロックに参加する。
- ・ 1セッションは30分間の語り。

A 多胎妊娠から出産、多胎児が退院するまでの困難感

- ・多胎妊娠を知った時の気持ちは
- ・妊娠経過や妊娠中の生活はどうでしたか
- ・入院中、困ったことは
- ・入院中はどんな気持ちでしたか
- ・出産はどのような生活でしたか
- ・多胎児が退院するまでの生活はいかがでしたか

B 多胎児の退院後から4か月までの多胎育児家庭の困難感

- ・赤ちゃんたちが退院してきてからはどのような生活でしたか
- ・産褥期はどこで、どのように過ごしていましたか
- ・母親の体の回復はどうでしたか
- ・赤ちゃんたちの状態はどのような生活でしたか
- ・この頃、どんな気持ちでしたか

C 4か月以降1歳未満までの多胎育児家庭の困難感

- ・この頃、どのような生活でしたか？
- ・単胎と比べて何が違うと思いますか
- ・外出はどうしていましたか
- ・家族はどうしていましたか
- ・この頃、何が不安でしたか、どんなことに困っていましたか
- ・体調はどうでしたか
- ・この頃、どんな気持ちでしたか
- ・この頃、何がしたかったですか

D 1歳代の多胎育児家庭の困難感

- ・この頃、どのような生活でしたか
- ・外出はどうでしたか
- ・体調はどうでしたか
- ・単胎と比べて何が違うと思いますか
- ・この頃、何が不安でしたか
- ・この頃、何がしたかったですか
- ・この頃、どんな気持ちでしたか

E 2～3歳代の多胎育児家庭の困難感

- ・この頃、どのような生活でしたか
- ・外出はどうでしたか
- ・体調はどうでしたか
- ・単胎と比べて何が違うと思いますか
- ・この頃、困ったこと、大変だったこと、不安だったことは何ですか
- ・この頃、何がしたかったですか
- ・この頃、どんな気持ちでしたか

資料2

調査1-②「多胎育児家庭が求めている家庭訪問型支援」インタビューガイド

- ・ランダムに振り分けた指定の1～5グループを構成。
- ・調査1-①で語られた困難感のまとめを見ながら、60分間の語りに参加する。

【質問項目1】この時期(A～E)にどんな訪問が必要でしたか？もしくは、あれば良いと思いますか？

<例>

- (ア) 医療的な相談を家庭でできる
- (イ) 多胎の子育て等の指導
- (ウ) 傾聴(不安や悩みを受け止める)
- (エ) 家事援助
- (オ) 育児援助
- (カ) 一緒に過ごす
- (キ) その他

【質問項目2】1で選んだ項目は、どんな人が訪問者として適当だと思いますか？(複数回答可)それはなぜですか？

<例>

- A) 助産師
- B) 保健師
- C) 子育て支援者
- D) 多胎の先輩ママ
- E) 地域のボランティア
- F) ベビーシッター
- G) 家政婦さん
- H) その他

【質問項目3】2で選んだ人に、どのような資質があると有効な訪問になると思いますか？

<例>

- イ) 多胎の妊娠出産育児に関する知識
- ロ) 多胎児の成長発達に関する知識
- ハ) 多胎児を育てる家族の心情への理解
- ニ) 複数の子どもを同時にお世話するスキル
- ホ) 家事をこなすスキル
- ヘ) 多胎育児の工夫や多胎育児家庭のありようをそのまま受け止めるスキル
- ト) その他

【質問項目4】質問1～3で示されたような訪問支援の先進事例が地域にありますか？

- ・行政事業～母子保健関係、子育て支援関係、養育支援訪問関係
- ・民間事業～民生委員や社協などのボランティア訪問、
子育て支援での訪問
多胎サークルの活動

資料3

調査2 先進事例訪問ヒアリングガイド

①行政用 多胎育児家庭への訪問型支援の取り組みの概況

項目		情報
属性	自治体名	
	管轄の人口動態（平成27年）	人口・出生数・多胎出生数
事業の概要	事業名	
	事業の主たる担当課・担当者（職種）	
	事業の目的	
	対象者（利用者）	利用者の条件
	内容（支援の概要）	利用回数・時期・具体的な支援の内容
	対象者の利用負担	有無と利用金額
	利用の周知と申込み方法	
	事業実施者	委託の有無・ 委託先（団体名/法人格・活動内容）委託費
	事業経費の財源	どこから拠出されているのか
	事業化に至る経緯	はじめたきっかけ、開始時期、
	事業実績	始めたころ、最近の利用状況
	訪問支援者の資格	専門職、有資格者・ピアなど、
	連携	本事業についての連携機関・団体・個人
訪問支援者	訪問支援者に求められる資質およびスキルと思われるもの	
	訪問支援スキルの維持向上のための研修	有無、研修実施者
	訪問支援にかかわる保険・交通費	有無、保険団体
効果	対象者（利用者）にとっての効果	利用アンケート、利用者の声・感想など
	行政側にとっての効果	
課題	事業展開にあたっての課題	
今後	今後の方向性	
その他	その他・特記事項	

②医療関係機関・子育て支援団体用 多胎育児家庭への訪問型支援の取り組みの概況

項目		情報
属性	団体名（法人格）	
	地域の状況（平成 27 年）	人口・出生数・多胎出生数
事業の概要	事業名	
	事業の主たる担当課・担当者（職種）	
	事業の目的	
	対象者（利用者）	利用者の条件
	内容（支援の概要）	利用回数・時期・具体的な支援の内容
	対象者の利用負担	有無と利用金額
	利用の周知と申込み方法	
	事業実施者	受託の有無・ 受託費
	事業経費の財源	どこから拠出されているのか
	事業化に至る経緯	はじめたきっかけ、開始時期、
	事業実績	始めたころ、最近の利用状況
	訪問支援者の資格	有資格者・ピアなど、
連携	本事業についての連携機関・団体・個人	機関・団体・個人（連携内容）
訪問支援者	訪問支援者に求められる資質およびスキルと 思われるもの	
	訪問支援スキルの維持向上のための研修	有無、研修実施者
	訪問支援にかかわる保険・交通費	有無、保険団体
効果	対象者（利用者）にとっての効果	利用アンケート、利用者の声・感想など
	支援団体にとっての効果	
課題	事業展開にあたっての課題	
今後	今後の方向性	
その他	その他・特記事項	

厚生労働省 平成 29 年度子ども・子育て支援推進調査研究事業
多胎育児家庭の虐待リスクと家庭訪問型支援の効果等に関する調査研究 報告書

平成 30 年 3 月 21 日発行

編集・発行 一般社団法人 日本多胎支援協会
発行責任者 代表理事 布施晴美
住 所 兵庫県神戸市西区井吹台東町 3 丁目 2 番 8-202 号
電 話 078-992-0870
メールアドレス jamba@jamba.or.jp
ホームページ <http://jamba.or.jp>